

大崎が湧永に競り勝ち、車体も1点差の辛勝

～第37回日本ハンドボールリーグ・第10週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第10週は11月10日に東京と愛知で男子4試合が行われ、首位の大崎電気が3位の湧永製薬に競り勝って10連勝をマーク、トヨタ車体も1点差で琉球コラソンをかわして2位の座を守った。

東京での大崎-湧永の上位対決は、立ち上がり大崎・浦和、湧永・志水の両GKが活躍してロースコアの展開となる。湧永は13分に新が足を負傷するアクシデントがあったが、集中を切らさず前半を13-13の同点で折り返す。後半も一進一退の攻防が続いたが、後半12分に大崎は馬場を前に出した5:1ディフェンスに変更すると湧永攻撃陣の足が止まる。ここから大崎は宮崎、信太らの4連打で22-19と加速。湧永はタイムアウトを取るも失点が止まらず5点差をつけられる。大崎は残り2分に2点差まで迫られたものの、GK浦和を中心に守り抜き30-27で湧永を退けた。

同じく東京でのトヨタ自動車東日本-北陸電力の先制点は東日本の上野。その後、北電に立て続けにチャンスが訪れたが、ことごとく東日本GK・関口に止められる。しかし、前半中盤からパスミスが目立ち始めた東日本に対し、切越の突破などで着実に得点を重ねた北電が12-10で前半を終了。後半はつねに2点差を争う展開。崎前の個人技を軸になんとか追いつきたい東日本は、後半25分過ぎに勝負をかけて前に出たディフェンスが功を奏し1点差まで詰め寄るが、櫛田の好守とGK有江のセービングで持ちこたえた北電が残り8秒で速攻を決めて勝利を握り、最下位脱出を果たした。

愛知での車体-琉球は、前半15分過ぎまで互いに譲らぬ展開から、車体が3連続得点で3点先行したところで琉球がタイムアウトを請求。21分に車体・藤田が退場となったが琉球は点差を詰められず、このまま車体が14-10とリードして前半終了。後半も車体ペースで試合が進むが、琉球が6分過ぎからの3連取を含め、怒涛の反撃を見せて同点に追いつき、その後もリードを広げ17分22-18とした。車体も粘りを見せて22分に同点とする。終盤まで1点差の攻防が続く、残り2分からの連続得点で逆転した車体がきわどく勝利を握った。この試合で車体・香川が通算500得点を達成した。

同じく愛知での豊田合成-トヨタ紡織九州は、大橋の速攻などで前半8分4-1と先行した合成に対し、紡織もスピードを生かした攻めで追いつき、20分過ぎまで僅差の展開が続いた。その後、中島のブラインドシュートなどで混戦を抜け出した紡織が3点リードで前半を終了。後半開始早々、合成が3連取して同点とするが、紡織は中島、海道らの連打やGK下野の好セーブなどで主導権を奪い返し、通算700得点を達成した村上秀の活躍もあって9分19-14とリードを広げた。合成も今村、長江らで反撃したが、紡織は速いリスタートなどで追加点を奪い勝利を決定づけた。

次週も埼玉などで男子4試合が行われ、全勝街道をひた走る大崎が巻き返しを図る大同特殊鋼と対戦、上位生き残りをかけた紡織-琉球戦にも注目。2位の車体は東日本、3位の湧永は合成の挑戦を受ける。



④開幕10連勝を飾った大崎電気・小室
⑤最下位脱出に成功した北陸電力・赤塚

第11週の日程

11月17日(土)	埼玉 富士見市民総合体育館(東武東上線鶴瀬駅からふれあい号(市内循環バス)市役所前)下車	14:00~	(男)	大崎電気 × 大同特殊鋼
	岐阜 ヒマラヤアリーナ(JR東海道本線西岐阜駅から車5分)	16:00~	(男)	豊田合成 × 湧永製薬
11月18日(日)	宮城 フラップ大郷21(JR東北本線松島駅車15分)	13:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × トヨタ車体
	山梨 甲州市塩山体育館(JR中央本線塩山駅車15分)	13:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × 琉球コラソン

<p>◆ 11月10日(土) 男子 東京・墨田区総合体育館</p> <p>北陸電力 27 (12-10) 25 トヨタ自動車 2勝0分8敗 15-15 東日本 1勝0分8敗</p> <p>2/ 5 神 田 永 瀬 K 5/11 切 越 郷 古 0/ 0 0/1 5/ 6 桜 井 遠 山 4/ 5 1/ 1 1/ 1 杉 山 河 内 0/ 0 1/1 0/ 3 杉 山 河 内 0/ 0 0/ 1 落 合 吉 藤 0/ 9 1/ 2 小 瀬 佐 藤 謙 0/ 0 K 廣 瀬 関 口 K <2/4> 4/ 6 山 原 桑 名 2/ 3 0/ 0 瀬 戸 佐 藤 文 5/12 K 川 添 崎 前 5/ 9 1/2 5/10 赤 塚 塚 上 野 4/ 9 2/ 3 佐々木 K 有 江 0/ 0 櫛 田</p> <p>2/4 25/48 9(FPP)9 25/47 0/0</p> <p>シュート阻止率 0.000 0/ 0 廣 瀬 永 瀬 0/ 0 0.000 0.000 0/ 0 川 添 関 口 15/40 0.375 0.324 12/37 有 江</p> <p>0.324 12/37 (GK) 15/40 0.375 審判(小川・内記) 観客 772人</p>	<p>◆ 11月10日(土) 男子 東京・墨田区総合体育館</p> <p>大崎電気 30 (13-13) 27 湧永製薬 10勝0分0敗 17-14 7勝0分3敗</p> <p><1/1> K 浦 和 志 水 K <1/1> 1/ 1 小 澤 谷 木 6/10 4/ 5 豊 田 村 村 0/ 2 4/ 7 宮 崎 坂 本 5/ 8 0/1 5/10 東長濱 成 田 1/ 2 1/ 2 永 島 東 江 0/ 0 3/ 5 小 室 佐 藤 4/ 5 0/ 0 馬 場 名 嘉 0/ 0 1/ 2 森 樋 口 1/ 3 1/2 3/ 8 岩 永 新 2/ 4 0/ 1 内 妻 仁 平 0/ 0 3/ 4 猪 田 今 井 2/ 2 1/ 1 石 川 松 村 K <0/1> K 吉 村 古 家 1/ 5 0/ 0 時 村 中 浦 4/ 5 4/ 6 信 太 新 名 0/ 0</p> <p>0/1 30/52 13(FPP)9 26/46 1/2</p> <p>0.381 16/42 浦 和 志 水 15/45 0.333 0.000 0/ 0 吉 田 松 村 0/ 0 0.000</p> <p>0.381 16/42 (GK) 15/45 0.333 審判(黒木秀・黒木龍) 観客 1313人</p>	<p>◆ 11月10日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館</p> <p>トヨタ車体 27 (14-10) 26 琉球 9勝0分1敗 13-16 コラソン 3勝1分5敗</p> <p><0/1> K 木 下 村 山 7/10 3/ 4 石 戸 東長濱 4/13 1/1 5/11 高 智 水野矢 0/ 0 1/ 2 横 地 積 0/ 0 1/ 1 藤 本 榎 本 3/ 5 4/ 8 藤 本 内 田 K <0/2> 0/ 0 高 木 名 嘉 1/ 3 3/ 6 木 切 倉 内 山 6/ 6 0/ 0 津 屋 連 1/ 1 1/ 4 富 田 石 田 K 1/ 1 光 谷 川 前 1/ 3 鶴 増 谷 部 1/1 0/ 0 香 川 1/ 1 3 崎 前 4/ 5 渡 部 K 甲 斐</p> <p>2/2 25/48 9(FPP)5 25/44 1/1</p> <p>0.375 3/ 8 木 下 内 田 0/ 0 0.000 0.394 13/33 甲 斐 石 田 15/40 0.375</p> <p>0.390 16/41 (GK) 15/40 0.375 審判(多田・市丸) 観客 563人</p>
---	--	---

◆ 11月10日(土) 男子
愛知・稲沢市総合体育館

トヨタ紡織 27 (14-11) 21 豊田合成
九州 13-10 2勝2分6敗
3勝2分4敗

<1/3> K 松 野 榎 原 1/ 1
5/10 中 嶋 原 0/ 1 0/1
1/ 1 西 端 野 田 1/ 4 2/2
0/ 0 上 田 黒 木 0/ 1
2/ 3 松 信 大 橋 3/10
7/ 9 村上秀 桶 脇 1/ 1
0/ 2 呉相民 湯 脇 0/ 0
0/ 0 佐久間 中 島 3/ 7
0/ 0 村上勝 長 江 3/ 6 1/1
3/ 6 海道 加 藤 田 K <0/1>
2/2 0/ 0 柳 藤 今 村 4/ 6
<0/1> K 下 野 今 村 2/ 4
0/ 0 藤 本 木 村 0/ 1
1/1 5/ 9 鈴 鈴 仲 0/ 1
0/ 1 藤 山 藤 堂 K <0/2>
1/ 3 石 黒

3/3 24/44 7(FPP)6 18/42 3/4

0.000 0/ 0 松 野 藤 田 7/18 0.389
0.514 19/37 下 野 藤 堂 8/21 0.381

0.514 19/37 (GK) 15/39 0.385
審判(仲野・藤坂) 観客 811人

第4回チャレンジ・ディビジョン

第4回チャレンジ・ディビジョンは11月10日に福井でBブロック2試合が行われ、HondaがTOYAMA選抜を33-22と一蹴して3連勝を飾り、八光自動車はOSAKA SELECTIONを下し初勝利をものにしました。

11月10日福井・北陸電力福井体育館フレア

八光自動車 28 (15-9) 20 OSAKA SELECTION
13-11

H o n d a 33 (12-14) 22 TOYAMA選抜
21-8

男子個人ランキング 第10週終了現在

得点王	7mスロー得点
1 東長濱秀作 (琉球コラソン) 64点 (9試合)	1 東長濱秀希 (大崎電気) 15点 (10試合)
2 中島晋太郎 (豊田合成) 58点 (10試合)	2 東長濱秀作 (琉球コラソン) 13点 (9試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン) 55点 (9試合)	3 野村 喜亮 (大同特殊鋼) 12点 (9試合)
4 赤塚 孝治 (北陸電力) 54点 (10試合)	3 赤塚 孝治 (北陸電力) 12点 (10試合)
5 新 建二 (湧永製薬) 52点 (10試合)	5 樋口 睦 (湧永製薬) 11点 (10試合)
6 渡部 仁 (トヨタ車体) 51点 (10試合)	5 渡部 仁 (トヨタ車体) 11点 (10試合)
7 上野 承太 (トヨタ紡織九州) 50点 (9試合)	7 野田 祐希 (豊田合成) 8点 (10試合)
8 宮崎 大輔 (大崎電気) 49点 (10試合)	8 柳 匠郎 (トヨタ紡織九州) 7点 (9試合)
8 東長濱秀希 (大崎電気) 49点 (10試合)	8 崎前 健治 (トヨタ紡織九州) 7点 (9試合)
10 鈴木 済 (トヨタ紡織九州) 48点 (9試合)	8 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 7点 (9試合)
11 富田 恭介 (トヨタ車体) 47点 (10試合)	
フィールド得点	シュート阻止率
1 中島晋太郎 (豊田合成) 58点 (10試合)	(フィールドシュートを受けた数が、9位以内のGKが対象)
2 村山 裕次 (琉球コラソン) 55点 (9試合)	1 甲斐 昭人 (トヨタ車体) 106本/256射0.414
3 新 建二 (湧永製薬) 52点 (10試合)	2 浦和 克行 (大崎電気) 124本/302射0.411
4 東長濱秀作 (琉球コラソン) 51点 (9試合)	3 石田 孝一 (琉球コラソン) 114本/325射0.351
5 宮崎 大輔 (大崎電気) 49点 (10試合)	4 藤堂 聖二 (豊田合成) 74本/211射0.351
6 富田 恭介 (トヨタ車体) 47点 (10試合)	5 久保 侑生 (大同特殊鋼) 80本/235射0.340
6 鈴木 済 (トヨタ紡織九州) 47点 (9試合)	6 志水 孝行 (湧永製薬) 106本/315射0.337
6 上野 承太 (トヨタ紡織九州) 47点 (9試合)	7 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州) 80本/251射0.319
9 切越 巧也 (北陸電力) 43点 (10試合)	8 関口 勝志 (トヨタ紡織九州) 134本/443射0.302
10 赤塚 孝治 (北陸電力) 42点 (10試合)	9 有江 啓 (北陸電力) 57本/201射0.284
11 武田 享 (大同特殊鋼) 41点 (9試合)	
シュート率	7mスロー阻止率
(フィールド得点ベスト10を対象)	(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)
1 富田 恭介 (トヨタ車体) 47点/66射0.712	1 久保 侑生 (大同特殊鋼) 5本/12射0.417
2 新 建二 (湧永製薬) 52点/76射0.684	2 志水 孝行 (湧永製薬) 7本/17射0.412
3 鈴木 済 (トヨタ紡織九州) 47点/77射0.610	3 廣瀬 騎優 (北陸電力) 6本/17射0.353
4 中島晋太郎 (豊田合成) 58点/101射0.574	4 木下 国大 (トヨタ車体) 3本/10射0.300
5 宮崎 大輔 (大崎電気) 49点/86射0.570	5 関口 勝志 (トヨタ紡織九州) 5本/17射0.294
6 村山 裕次 (琉球コラソン) 55点/105射0.524	6 内田 武志 (琉球コラソン) 4本/18射0.222
7 切越 巧也 (北陸電力) 43点/87射0.494	7 藤堂 聖二 (豊田合成) 3本/14射0.214
8 東長濱秀作 (琉球コラソン) 51点/118射0.432	8 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州) 1本/9射0.111
9 赤塚 孝治 (北陸電力) 42点/99射0.424	
10 上野 承太 (トヨタ紡織九州) 47点/126射0.373	(※女子のランキングは第9号参照)

第 37 回 日本ハンドボールリーグ成績表

第10週第1日終了 11月10日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	大同特殊鋼	豊田合成	北陸電力	トヨタ自動車東日本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	39 ○	30 30 ○ ○	34 ○	34 ○	29 ○	38 ○	38 33 ○ ○	41 ○	10	10	0	0	20	346	256	90
2	トヨタ車体	●	31 ○	29 ○	33 ○	29 27 ○ ○	36 ○	37 30 ○ ○	37 ○	45 ○	10	9	0	1	18	334	270	64
3	湧永製薬	●	23 27 ● ●	26 ●	33 ○	27 ○	32 29 ○ ○	30 ○	26 ○	43 ○	10	7	0	3	14	296	264	32
4	トヨタ紡織九州	●	29 ○	27 ●	28 ●	31 ○	29 ●	27 27 △ ○	32 ○	38 ○	9	3	2	4	8	258	249	9
5	琉球コラソン	●	19 ○	25 26 ● ●	25 ●	31 ○	20 ○	20 △	25 ●	37 ○	9	3	1	5	7	228	236	-8
6	大同特殊鋼	●	26 ○	24 ●	27 27 ● ●	21 △	19 ●	29 ○	28 ○	41 ○	9	3	1	5	7	242	234	8
7	豊田合成	●	30 ○	30 27 ● ●	20 ●	27 21 △ ●	20 △	24 ●	30 ○	26 ○	10	2	2	6	6	255	286	-31
8	北陸電力	●	24 26 ● ●	27 ●	22 ●	28 ●	33 ○	21 ●	24 ●	30 27 ● ○	10	2	0	8	4	262	307	-45
9	トヨタ自動車東日本	●	21 ○	19 ●	26 ●	21 ●	18 ●	22 ●	24 ●	32 26 ○ ●	9	1	0	8	2	209	328	-119

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッズ*	ソニーセミコンダクタ	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	○	22 22 ○ ○	30 ○	19 ○	33 ○	33 32 ○ ○	7	7	0	0	14	191	113	78
2	北國銀行	●	18 16 ● ●	32 ○	26 23 ○ ○	36 ○	33 ○	7	5	0	2	10	184	126	58
3	広島メイプルレッズ*	●	18 ○	24 ●	30 27 ○ ○	38 32 ○ ○	29 ○	7	5	0	2	10	198	158	40
4	ソニーセミコンダクタ	●	15 ○	25 17 ● ●	26 22 ● ●	25 ○	29 ○	7	2	0	5	4	159	158	1
5	三重ハイオレットアイリス	●	16 ○	7 ●	17 17 ● ●	16 ●	23 20 ○ ○	7	2	0	5	4	116	194	-78
6	HC名古屋	●	16 14 ● ●	9 ●	14 ●	17 ●	16 14 ● ●	7	0	0	7	0	100	199	-99

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。